



国道4号から見た
安達太良山

国道4号大玉地区の4車線化へ向けて

安達太良山と「いぐね(屋敷林)」が織りなす
田園風景を感じる道づくり

国土交通省では国道4号の本宮町～大玉村間で、渋滞緩和と交通安全を目的とした4車線への拡幅事業を進めています。この地区は安達太良山の眺めが美しく、田園景観に配慮した開発が望まれています。そこで、国土交通省では地域の方々と学識経験者・道路事業者等を交えた懇談会を設け、地域と一体になって道路整備に取り組んでいきます。



- ### 大玉地区道路景観整備の基本コンセプト
- ① 安達太良山の眺望を確保する
 - ② 大玉村の風景を規範とする道路景観を形成する
 - ③ 表通りとしての身だしなみを整える
 - ④ 地域と連携して景観を創造する

景観に考慮した道路整備

交差点が見やすくなります

交差点の信号機や照明の柱などを一つにまとめ、スッキリとした交差点で見やすくなります。



整備後のイメージ



電柱・電線は東側へ

西側にある安達太良山の眺望を確保するため、電柱・電線などを東側へ集約します。



整備後のイメージ

地域と連携した沿道整備

沿道のやわらかな景観演出を目的に、大規模店舗予定地などと協力をしながら緑地整備(アースマウンド)を行います。

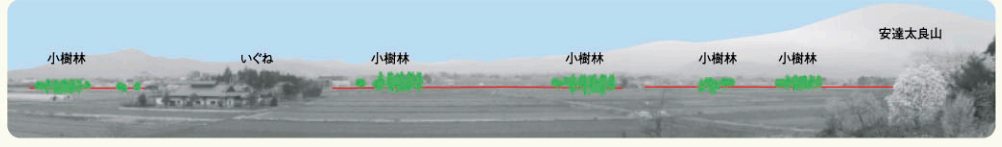


整備後のイメージ

道路敷地と民地の一体的な整備のイメージ

「いぐね」をイメージした小樹林の配置

沿道によく見られるような街路樹の配置ではなく、地域独特の田園景観を受け継ぐ「いぐね(屋敷林)」と同調する小樹林を配置します。



「いぐね」をイメージした小樹林